



インナーバルコニーのある 店舗住宅の新しい姿

現在、長野に実際に計画中のカフェ併用住宅。
インナーバルコニー＝スタイリッシュな縁側を持っているこの建物は、
かのイームズハウスの発展型と言えるもののなのです。

1Fのカフェの吹き抜けから、2Fのインナーバルコニーを望む。空間のポイントには、お馴染みの螺旋階段。奥にはガレージ内部が透かし見えるガラスウォール。気候を調節しながら外部の環境にフルオープンする日本家屋的な要素を意識した、カフェスペースで心をリラックス。

Cafe Space



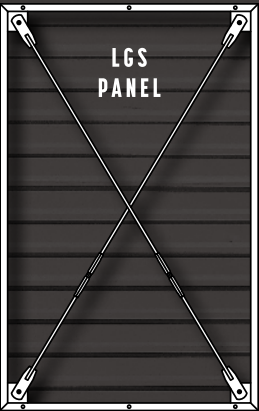
2Fのインナーバルコニーの内部。連続する押し出し窓はデイトナハウスオリジナルのスチールサッシで製作。アルミのチープ感を排除することがポイント。ここで冬の日ば、温かいお茶を飲み身体を温める。まさに現代的縁側。半戸外を楽しむ発想からアウトドアへの志向性生まれるのです。

Inner Balcony

デイトナが提案する
新しい建築のカタチ

DH×L
DAYTONA HOUSE×LDK

CASE 35



×
48
PANELS

What's DAYTONA HOUSE ?

デイトナハウスを構成するのは、LGSと呼ばれる軽量鉄骨のパネルで、厚さ3.2mm、幅12.5cm、厚み5cmの「Cチャンネル」と呼ばれる部材を、横幅180cm、縦270cmの長方形に溶接して製作しています。対角線のクロスしたパーツは、「ブレース」と呼ばれる筋違いで、力の伝達を受け持つ大切な役割を持っています。「柱」と「梁」と呼ばれる縦と横の部材を使って軸組を作っていく一般的な建築とは違って、デイトナハウスはこのLGS パネルを連結することで住宅、ガレージ、別荘、店舗、マンションなどの様々な建築を可能とする、全く新しいカタチのシステムなのです。つまりこのLGS パネルを使った建物全てがデイトナハウスと言う訳です。パネルの枚数を数えるだけで、建築の広さ、およその予算がイメージできる分かります。パウダーコーティングが施されたその鉄の素材感が醸し出すハードボイルドな空間のテイストも持ち味です。

www.daytona-house.com

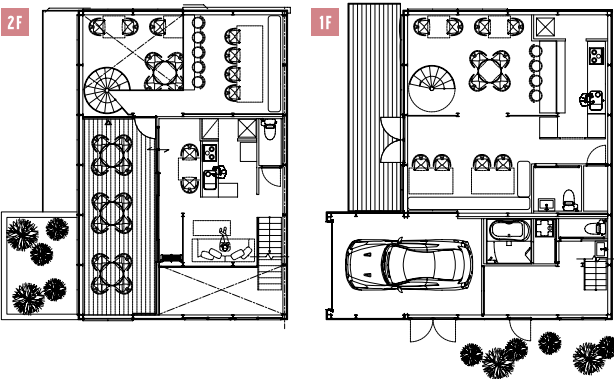
● INFORMATION
LDKinc.

代表: 玉田敦士
www.ldk.co.jp
03-6228-4933

デイトナをはじめ、カーマ
ガジンでの長期連載、ムック
本である CAR&HOME
にて、常にクルマと住宅の
関係について提案し続けて
きた建築プロデュース会社
LDK inc. 建築設計はもち
ろんのこと、建築システム
の開発や商品開発も行う。

戦間期から戦後にかけて活躍した工業デザイナー『チャールズ・イームズ』。その代表作イームズ・スチエアをはじめとする家具で有名な人物ですが、彼が設計した自邸「イームズ・ハウス」もいまだに多くのファンを惹きつけてやまない名建築です。湾曲させたり、突出させたり、そのフォルムを弄くりまわすことを一切せず、素直な直線で構成したモジュール建築。それでいて自然に対して大きく開かれた借景の思想を体現したイームズ・ハウスは、実は日本の在来木造建築の影響で考案されたとも言われています。LGSシステムはイームズの発想に大きく影響された、和製モジュール建築を目指していますが、今回はイームズ・ハウスによく似たプロポーションの店舗(カフェ)を併用した住宅をご紹介します。

この家の特長は、まずファサードのガラスウォールのリズム感です。コーナーまでまわり込んだ窓は、更にこの家のスケルトン感を増幅します。そしてその伏線の上にユニークなのが、2Fのインナーバルコニーです。自然が豊かな長野という土地に設計された実例例なので、このアイデアが採用されています。気候の暖かい季節には、このバルコニーの窓はすべて開け放って外の風や匂いを楽しめます。風の強い日も調節可能な適切なフィルターを持った外部の自然環境との中間領域という意味で



FLOOR PLAN

1Fのカフェは吹き抜けを持つ、ゆったりとした空間で、大開口から自然に全面的に開放されています。2Fは住宅となっており、玄関ホールに吹き抜けを採用したプランになっています。双方がインナーバルコニー(モダン縁側)を共有する形で配置されています。インナーバルコニーが店舗と住居にとって自然へのフィルターになり、かつ店舗と住居のフィルターにもなっているのです。

「スタイリッシュな縁側」とも呼べるものです。この機構を備えていることで、機械力全盛時代のイームズ建築の発展型と言えるのです。この建築はイームズ先生への敬意を込めたオマージュなのです。



ホビールームからガレージを望む。自分達の世界に没入できる喜び。趣味や家族の憩いの場所として、ここは最高の空間になることでしょう。

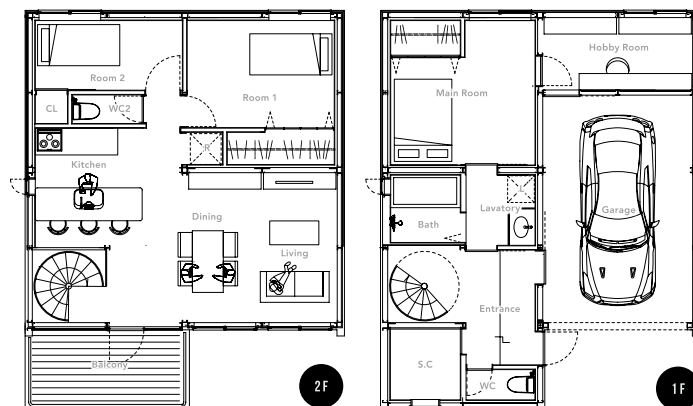
人生の“BASE＝出撃基地”となる家

堂々デビューしたTYPE-Bの第1号物件。この住宅のテーマは、ガレージをもっと暮らしの中へ、ということ。単なるクルマの置場としてのガレージではなく、家族みんながガレージ空間をエンジョイできる家。引きこもり型の生活ではなく、常にアクティブなライフスタイルを意識した家族を想定しています。なので、TYPE-Bのガレージは、大きく開かれた外の世界への出撃基地みたいな場所なのです。

更にガレージの奥に設定されたホビールームは、この家のテーマをストレートに表現した場所です。父親の趣味の部屋というだけではなく、外の世界のイメージを常に持った子供や、奥さんもガレージやホビールームに集まってくる。勉強や宿題をここのでやってもいい。ともすれば画一的で閉鎖的な学校という環境ではなく、大自然への志向性を育む場所として設定しています。

そしてこのTYPE-Bは、地中海風や南欧風、果てはカリフォルニア風まで、〇〇風のようなものが付く家にはしないという事もテーマに掲げています。今まで日本人は自分ではないものになろうとしすぎたのではないのでしょうか？ でもTYPE-Bはそんな、〇〇風な家ではなく、あくまでも自分を素直に表現するためのBASE基地。そんな思いを込めて企画しています。鉄骨構造を積極的に露出させているのも、そのコンセプトを表現していること。ビルクロスで、構造体というリアルな物を覆い隠す必要はないからで

DATA
1F床面積 65.6㎡ (19.9坪) ※ガレージ含む
2F床面積 58.1㎡ (17.6坪)
延床面積 123.7㎡ (37.5坪) ※ガレージ含む
施工床面積 131.2㎡ (39.7坪)



PLAN MOTOR LIFE

インナーガレージ付き モーターフリーク向けプラン

鉄骨が露出したスタイリッシュな格納庫と、究極の自分らしさを追求できるホビールームを持ったアクティブな家族のための仕様です。

TYPE-B 遂に実物が完成した デイトナハウスの ガレージ付き規格住宅

規格住宅と言いながら、型にはまらない自由なライフスタイルのベース(基地)となるように設計した『TYPE-B』のモデルハウス第1号が仙台市内に誕生。遂にベールを脱いだその全貌を一挙公開します。

Text/Atsushi TAMADA Photo/Ken TAKAYANAGI
Specialthanks/Mutt Motorcycles Japan www.muttmotorcycles.jp





玄関のシュークロークの内側から見た丸窓。開閉を確保するために六角形の切込みが入っている。これはヨットなどに使用する船舶用の窓で、船具メーカーの製作。武骨な亜鉛メッキ製品がなぜかわいらしい。

す。地震や雨風などの自然界の力を受け持つ、支えてくれている構造体自体を楽しみ、愛しむ。骨を楽しむ家、というテーマも、この家の大切な要素なのです。

TYPE-Bは木造の住宅と違って、構造計算された軽量鉄骨の家です。自然の力の強大さを知っているからこそ、人知を尽くして自然の力に備える。それが構造計算の考え方。大自然の力をしっかりと意識してのことなのです。因みに2階建て以下の木造住宅はこの構造計算を出さなくていいことになっています。

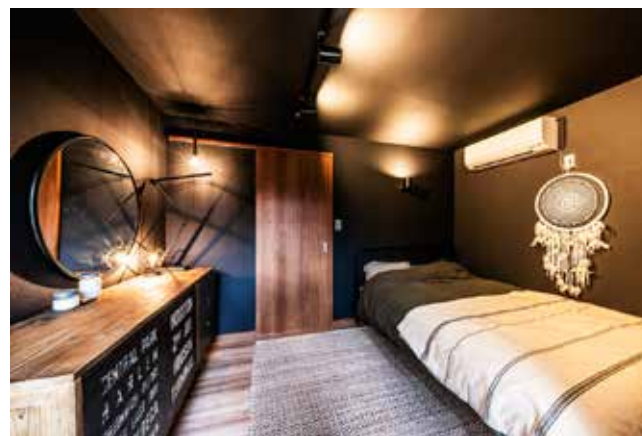
そもそも何故、正方形プランにしているのか？ それにも理由があります。デイトナハウス×LDKを構成する鉄骨パネル工法「LGSシステム」は、無理なく飛ばせるのは2スパン（1820mm×2スパン）です。一辺4スパンの正方形プランの、ど真ん中に柱を一本立てるだけで周

辺は均等に2スパンとなり、柱が少ない安定した形になるのです。地震の揺れに対して、各所が同じように揺れることは、鉄骨の太さよりも重要なこと。歪に変形した揺れ方に建物は弱いからです。そのような理由でバランスの良い正方形の平面プランを採用しているのです。

LGSシステムはモジュール建築ですから、面積の計算は極めて簡単です。日本の住宅のほとんどは畳1枚の長さ1820mmを単位とした建築で、それを尺貫法では、1間（ケン）と呼びます。LGSシステムも1スパン＝1820mmのモジュールパネルシステムですから、その考え方は同じです。4スパン×4スパンの正方形で16坪（畳32枚）の2F建てなので、16坪×2＝32坪。飛び出したテラス部分2坪を加算して34坪。4人家族が過不足なく暮らせる適正な面積なのです。

MASTER BEDROOM

ホビールームの横にある、しっとりとした静かな雰囲気のマスターベッドルーム。チャコールグレーの壁が安眠をもたらしてくれます。ひとつの家の中で動と静のメリハリも大切な要素。



ENTRANCE

TYPE-Bの玄関は土間形式です。長い土間が玄関ドアとガレージ内部のドアの両方にアクセスしています。休日にクルマをイジったり日曜大工するにはぴったりの導線設定。外から玄関ドアを開けると、目の前にはオリジナルの鋼鉄製螺旋階段「ダイナソーボーン」が屹立しています。そして上階の光を暗い玄関に落としてくれるのです。

螺旋階段の吹き抜け空間を上階の大開口からの光が差し込むため、玄関でも観葉植物が繁茂します。瑞々しい玄関。季節や時間帯によって降りてくる光は様々。それによって鋼鉄製階段の表情も変化するので。



ガレージからも寝室からもアクセスできるホビールーム。カウンターテーブルで自分一人の楽しみを満喫できる男の夢が見事に具現化しています。背中側の壁にもFASブラケットを上手に使用して、収納ものを遊んでしまう。これぞデイトナハウスの空間構築術なのです。



GARAGE & HOBBY ROOM

単なるクルマ置場ではない、インダストリアル感溢れるガレージと、ガラス張りで仕切られたホビールームは、この規格住宅TYPE-Bの最大の持ち味です。スポットライトに照らされたトラス梁のリアル感。規格住宅なのに、カッコいいインナーガレージが備わる喜びを日々味わえることでしょう。まさにモーターフックご用達仕様。すっかりお馴染みになってきたオリジナルの「FASブラケット」を使って、取り付けた棚板に各種ギアをディスプレイすれば、ガレージはBASE感満載です。ホビールームから愛車や愛機を落ち着いて眺めると、これはまさに新境地。畳4枚分の小さな部屋なのですが、ガラスでガレージに開放され、無限の想像力が湧いてきて、人生が一層楽しくなりそうです。子供はここで宿題をやりたいがるかもしれません。



ガレージとホビールームに境界となる腰壁もガルバリウム貼。その上部にはスチールサッシのガラスフィックス窓。デイトナハウスならではの本物感と妥協のなさ。武骨な作業机があれば、機械イジリに加えて、子供と工作なんでも楽しめます。

2社のコラボにより実現した モデルハウスのインテリア

CRASH GATE FURNITURE & OBJECTS



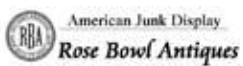
心躍るモノと出会えるファニチャーショップ

テーブルやソファ、ベッド、棚といった大物家具は、「心躍るモノとの出会い」をテーマに様々なテイストのアイテムを展開するインテリアショップ「CRASH GATE」がコーディネート。全国展開する各ショップでは、まるで様々なガレージセールで掘り出しモノを探すような感覚でショッピングを楽しむ事が可能となっている。今回のTYPE-Bモデルハウスでも、そんな同社のコンセプトそのままに、いつもの暮らしにユーモアを加える、「心躍るモノ・好きなモノ」を自由にミックスしてレイアウト。

CRASH GATE 宮城県仙台市青葉区一番町 3-11-15
仙台店 022-264-8086 crashgate.jp



全国で13店舗を展開する「CRASH GATE」は、knot antiquesやEasy Lifeなど人気ファニチャーブランドを手がけるCRUSH CRASH PROJECTの直営店。ジャンルやカテゴリーに捕らわれず、好きなものを組み合わせて生まれるギャップや、ユーモアのある個性的なインテリアを提案している。



仙台にある珠玉のアンティークショップ

雰囲気抜群の雑貨類は、仙台にて長年アメリカのアンティーク雑貨やビンテージ家具、店舗什器などを販売する「ローズボウルアンティークス」が担当。1950年～70年代を中心にセレクトして賣い、世田谷ベースを彷彿させる趣味性に富んだ遊び心溢れるガレージ空間を構築して頂いた。同市内にある店内は、バイヤー歴30年以上という店長が、LAで直接買い付けた選りすぐりのアイテムに囲まれた特筆すべき場所。もちろんオンラインでも購入が可能だ。

Rose Bowl Antiques 宮城県仙台市若林区伊在 2-22-3
022-369-3442 rosebowl.shop-pro.jp



店内はビンテージのトレジャーランド。古着やビンテージ好きにとってもはや伝説の「ローズボウルフリーマーケット」を巡る感覚そのままに、思わぬ掘り出しものとの出会いが楽しめる。

リビングルームからキッチンと螺旋階段のある空間を望む。キッチンの壁面にも贅沢にガルバリウムを使用。アウトドア感覚の楽しいキッチン。しかもフライパンや様々なキッチンウェアを磁石のフックで自由自在に吊り下げることが可能です。奥様もディスプレイを楽しむ場所として設定しているのです。



夜の外観とガレージ内部。格納するクルマの目つきや表情によって、建物の印象や表情も変化する。これがガレージ住宅の面白さで、いつまでも飽きが来ない所以なのです。夜の鉄骨ガレージは、いつまでも黙ってそこにいたくなくほどクールです。

TYPE B MODEL HOUSE INFORMATION

実物が見たい方は仙台へ！

仙台市青葉区。仙台城の別名が区の名前になった場所に、このモデルルームは建っています。因みに今回ディスプレイされている家具や雑貨は全てその場で購入可能となっています。モデルルーム×ポップアップストアという新しい試み。お店に来るような感覚でモデルルームも楽しむ事が出来ちゃうのです。この後、京都、浜松、静岡、金沢、滋賀県草津、近江八幡、函館など、続々とモデルハウスがオープン予定です。

モデルハウス所在地 仙台市青葉区小松島 4-31-11
(※目印は南光台入口バス停前)

daytonahouse-sendai.jp

☎ DAYTONA HOUSE × LDK SENDAI (ビュアホーム)
TEL : 022-771-7668



LIVING & DINING

螺旋階段を登ると、眼前に広々としたリビングルームが広がります。空間のアクセントは、まずは艶消し黒のトラス梁。建物の荷重を支え、揺れに耐えるリアルな相棒です。このモデルルームでは、天井に木板をあしらった仕様になっていて、壁面の鉄骨フレームとダブルブレースという露出した構造体をバックに、棚板のディスプレイが適度に緊張感を和らげてくれます。もし、もっとハードボイルドタッチが好みであれば、天然木の使用箇所を制限し、無骨なアイアン系の家具を揃えることで、空間の印象はガラッと変化します。住む人のディスプレイセンスに、見事に応えてくれる艶消し鉄骨フレーム。デイトナハウスの真骨頂です。



ソファとローテーブルが置かれたリビングスペース。奥にはデイトナハウスを象徴するダブルブレース、背面には外からの光りを適度に取り込む小窓があります。構造体がある程度剥き出しになっているとは言え、全面外断熱のおかげで、夏は涼しく、冬は暖かい、確かな断熱性能を発揮します。



TERRACE

外観の飛び出した白い壁部分の屋根はルーフトラスになっています。1800×3600mmの広さ、つまり4畳。子供用の小さなプールを置いたり、BBQを愉しむにも十分なスペース。手すりには、1930年代にアーリーモダンの秀作と言われたバウハウス校舎の手すりと同じ仕様。角をバンダーで湾曲させたこれまたオリジナルのパーツです。

